

第 29 回岡山県障害者技能競技大会実施要綱

1 趣旨

障害者が日ごろ培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々が障害者に対する理解と認識を深め、その雇用の促進を図ることを目的とする。

2 名称

本大会の愛称を「アビリンピック岡山 2025」とする。

3 主催等

(1) 主催

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構岡山支部、岡山県

(2) 後援（後援名義表記 順不同）

岡山労働局、岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、
学校法人第一平田学園中国デザイン専門学校、山陽新聞社、NHK 岡山放送局、
RSK 山陽放送、OHK 岡山放送、KSB 瀬戸内海放送、TSC テレビせとうち、
RNC 西日本放送、レディオモモ

(3) 協賛（50 音順標記）

株式会社ありがとうファーム、鶴信運輸株式会社、株式会社サンラヴィアン、
株式会社フジワラテクノアート、株式会社両備システムズ、シーアール物流株式会社

(4) 協力

一般社団法人岡山ビルメンテナンス協会

4 日程及び会場

(1) 日時 令和 7 年 7 月 5 日（土）午前 9 時～午後 5 時（予定）

（予備日：令和 7 年 7 月 6 日（日））

会場 ポリテクセンター岡山（岡山市北区田中 5 8 0）

(2) 日時 令和 7 年 7 月 1 2 日（土）午前 9 時～午後 5 時（予定）

（予備日：令和 7 年 7 月 1 3 日（日））

会場 ポリテクセンター岡山（岡山市北区田中 5 8 0）

5 競技種目及び定員等

(1) 7 月 5 日実施競技

競技種目（定員人数・参加対象障害者）

喫茶サービス（1 2 名・身体障害者、知的障害者、精神障害者等）

電子機器組立（6 名・身体障害者、知的障害者、精神障害者等）

製品パッキング（6 名・身体障害者、知的障害者、精神障害者等）

ワード・プロセッサ（8 名・身体障害者、知的障害者、精神障害者等）

表計算（５名・身体障害者、知的障害者、精神障害者等）

（２） ７月１２日実施競技

競技種目（定員人数・参加対象障害者）

ビルクリーニング（１２名・身体障害者、知的障害者、精神障害者等）

オフィスアシスタント（１０名・身体障害者、知的障害者、精神障害者等）

物流ワーク（６名・身体障害者、知的障害者、精神障害者等）

縫製（６名・知的障害者限定）

パソコンデータ入力（５名・知的障害者限定）

なお、参加選手が１名の種目であっても競技を実施する。

また、定員を超えて参加希望者の応募があった場合の選手の決定方法については、以下８において定める。

６ 参加資格

令和７年４月１日現在で１５歳以上であり、次の（１）から（５）のいずれにも該当する者とする。

（１） 次のいずれかの所持者。

イ 身体障害者手帳（又はそれに相当する証明書）

ロ 療育手帳（又はそれに相当する証明書）

ハ 精神障害者保健福祉手帳（又は統合失調症、躁うつ病（躁病及びうつ病を含む。）及びてんかんにかかっている者については、指定医又は産業医の診断書等）

（２） 岡山県内に居住、もしくは岡山県内の事業所に勤務する者、または職業能力開発施設等に在籍している者。

（３） 第４０回から４４回までの全国障害者技能競技大会において、今回の参加申込と同一種目で金賞を受賞したことのない者。

（４） 第４２回から第４４回までの全国障害者技能競技大会において、参加を希望する技能競技種目に３大会連続して参加した者でない者。

（５） 競技に充分耐えられる健康状態にある者。

７ 参加者の募集及び申込み

（１） 募集

関係機関への周知及び飲食業、製造業、繊維業、清掃業の事業所のほか、障害者を４名以上雇用している事業所等へ募集案内の送付を行う。

また、岡山県記者クラブ等への記者発表（資料提供）や事業主団体等への広報を行い、広く県民一般に周知を図る。

（２） 参加申込

「アビリンピック岡山 2025 参加申込書」及び「アビリンピック岡山 2025 参加に係る同意書」の提出により行う。

(3) 受付期間

令和7年3月24日(月)～令和7年4月30日(水)

提出先

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構岡山支部 高齢・障害者業務課

※受付期間内で参加選手が定員に達していない競技があった場合は、その競技について受付期間を延長する場合もある。但しその期限は競技開催日の二週間前とする。

(4) 個人情報保護について

参加申込みによって得られた個人情報の取り扱いについては、申込書及び同意書に明記のうえ、本大会及びそれに付随する事務手続きにのみ利用するものとし、それ以外の目的に使用または他に提供してはならない。

8 参加選手の決定

(1) 決定時期

令和7年5月16日(金)

※上記7の(3)※により受付期間を延長した場合には令和7年5月16日(金)以降で個別に決定する。

(2) 決定方法

参加資格審査を行ったうえ、各競技種目の定員に対する参加申込の状況を勘案し、原則として先着順により参加の可否を決定し、本人に通知する。なお、主催者は定員を超える申込みがあった場合、競技委員と協議を行い、参加の可否を検討する。

9 競技方法等

(1) 競技は実技により行う。

(2) 競技に使用する機器は原則として主催者等が用意する。但し、競技種目によっては、参加選手による持ち込みを可能とする。

(3) 縫製競技参加希望者は、原則として自身で用意したミシンを大会当日に持ち込むことを参加要件とする。大会当日以外の日に持ち込みを希望の場合は事前に連絡するものとする。

10 実行委員会の開催

アビリンピック岡山2025の基本的事項等に関することについては、「岡山県障害者技能競技大会実行委員会設置要綱」に基づき実行委員会において協議する。

11 競技課題作成及び競技の進行・競技専門委員の委嘱

(1) 競技課題については、競技専門委員において協議のうえ作成・決定する。

(2) 競技種目毎に、競技専門委員1名(競技内容・参加人数によっては複数名)及び補佐員を1名(競技内容・参加人数によっては複数名)委嘱する。

12 審査・結果発表等

- (1) 競技終了後速やかに競技種目毎に審査を行い、受賞者（金・銀・銅賞）を決定する。各競技種目における各賞受賞者数は1名以内とする。
- (2) 金賞受賞者の基準は別途定める。なお、金賞受賞者がいない場合は奨励賞を1名授与することができることとする。
- (3) 競技成績の評価にあたっては障害の種類、程度は考慮しない。
- (4) 受賞者に対し表彰状及び各受賞メダルを、参加選手全員に記念品を贈呈する。
- (5) 審査結果を岡山支部ホームページにて公表する。

13 参加費用

参加費は無料とし、会場までの交通費（往復）は選手の自己負担とする。

14 全国障害者技能競技大会参加選手の推薦

第45回全国障害者技能競技大会に係る参加選手については、原則として今大会の金賞受賞者を推薦することができる。

なお、全国障害者技能競技大会実施要綱において特段の定めがある競技種目については、その定めに基づき入賞者から推薦することができる。

15 体調・安全管理

参加選手は、アビリンピック岡山2025にあたって、自己の責任において体調・安全管理を行う（服用薬等の持参を含む。）こととし、主催者は、体調・安全管理をサポートするための必要な人員配置について配慮するほか、競技及びそれに付随する行事参加中に参加選手が受傷したケガまたは罹患した疾病等に対して、速やかに応急の処置を行うものとする。また、当日の当直病院を確認しておくと共に、大会関係者及び競技参加者（介助者等含む。）の傷害保険等への加入等サポートを図る。

16 大会実施に関する実施体制

- (1) 大会運営全般
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構岡山支部 高齢・障害者業務課、
岡山県産業労働部労働雇用政策課
- (2) 大会運営に関する後援
上記3の(2)のとおり
- (3) 競技課題作成、進行・審査に関する助言及び当日の進行
競技専門委員、関係機関職員、民間協力事業所職員等
- (4) その他
イ 聴覚障害者が参加する場合には必要に応じ手話通訳者又は、要約筆記者を配置する。
ロ 大会の趣旨に賛同される企業・団体等からの援助を募集する。

17 その他

- (1) 自然災害等により大会の運営または参加者等の安全確保が困難であると判断した場合には、大会の中止等する場合があること。
- (2) 感染症等の感染予防対策については、会場の定期的な換気の実施、手指消毒液の整備及び発熱、咳、倦怠感等の症状がある選手の参加見合わせを実施します。
- (3) 本要綱に定めのない事項及び本要綱によりがたい事項については、実行委員会において協議のうえ取扱うものとする。